

④ 雨のつぶと大きさをについて知ろう。

● 雨のつぶの大きさ

雨のつぶの直径が0.5mm以上のものを

「雨」といい、それより小さいものを、

「霧り雨」といいます。

ふつうの雨は1~2mmくらいの大さ

ですが、強い雨のときは大きいもので

5~7mmくらいになります。

それ以上に大きくなると、雨のつぶは、

2つ以上に分かれてしまいます。

● 雨のつぶの形

雨のつぶは、小さいものは球の形を

しています。つぶが大きくなるにつれて

空気のカギが平にな、ていきます。

小さい

霧り雨

ふつうの雨

強い雨

0.5mmより小さい 1~2mmくらい 5~7mmくらい

<おまけ>

雲や霧りは、もっと小さな水のつぶで、

できている。

⑤ このつぶの大きさはどのくらいなのか

調べてほしい。